

NYマーケットレポート (2017年12月13日)

NY市場では、序盤に発表された米消費者物価指数において、変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数が、市場予想や前回結果から低下したことが嫌気され、ドルは主要通貨に対して下落した。その後は、株価が堅調な動きとなったこともあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。そして、注目された米 FOMC では、予想通り追加利上げが決定されたものの、インフレ率について短期的に目標を下回るとの見解が示されたことから、利上げのペースは加速しないとの見方が広がり、ドル売り・円買いが優勢となった。

2017年12月13日 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	113.44	113.57	113.13
EUR/JPY	133.16	133.36	133.06
GBP/JPY	151.19	151.29	150.83
AUD/JPY	85.81	85.98	85.74
EUR/USD	1.1738	1.1763	1.1736

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	22758.07	-108.10
ハンセン指数	29222.10	+428.22
上海総合	3303.04	+22.22
豪ASX200	6021.83	+8.63
インドSENSEX	33053.04	-174.95

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7496.51	-3.90
仏CAC40	5399.45	-27.74
独DAX	13125.64	-57.89

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	24585.43	+80.63
S&P500	2662.85	-1.26
NASDAQ	6875.80	+13.48

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	112.55	113.38	112.46
EUR/JPY	133.11	133.17	132.86
GBP/JPY	151.00	151.39	150.49
AUD/JPY	85.94	86.12	85.74
EUR/USD	1.1826	1.1827	1.1730

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	16136.59	+22.56
ボルサ指数	48276.72	+577.68
ボベスパ指数	72914.31	-899.22

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1248.60	+6.90
NY 原油	56.60	-0.54

12/14 経済指標スケジュール

09:30	【オーストラリア】11月失業率・11月雇用者数
11:00	【中国】11月小売売上高
11:00	【中国】11月鉱工業生産
11:00	【中国】11月固定資産投資
13:30	【日本】10月鉱工業生産・10月稼働率指数
16:45	【フランス】11月消費者物価指数
17:00	【南アフリカ】3Q経常収支
17:00	~18:00
	【仏】【独】【欧】12月製造業PMI・非製造業PMI
17:30	【スウェーデン】11月失業率
17:30	【スイス】政策金利発表
18:00	【ノルウェー】政策金利発表
18:30	【南アフリカ】11月生産者物価指数
18:30	【英国】11月小売売上高
20:00	【トルコ】政策金利発表
21:00	【英国】政策金利発表・英中銀議事録
21:45	【欧州】政策金利発表
22:00	【ポーランド】10月経常収支・10月貿易収支
22:30	【米国】新規失業保険申請件数・失業保険継続受給者数
22:30	【米国】11月小売売上高
22:30	【米国】11月輸入物価指数
23:45	【米国】12月マークイット米国製造業PMI・非製造業PMI
00:00	【米国】10月企業在庫

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.78%	1.83%
3年債	1.89%	1.95%
5年債	2.11%	2.17%
7年債	2.25%	2.31%
10年債	2.35%	2.40%
30年債	2.73%	2.78%

ドイツ10年債	0.31%	0.31%
英国10年債	1.22%	1.22%

12/14 主要会議・講演・その他予定

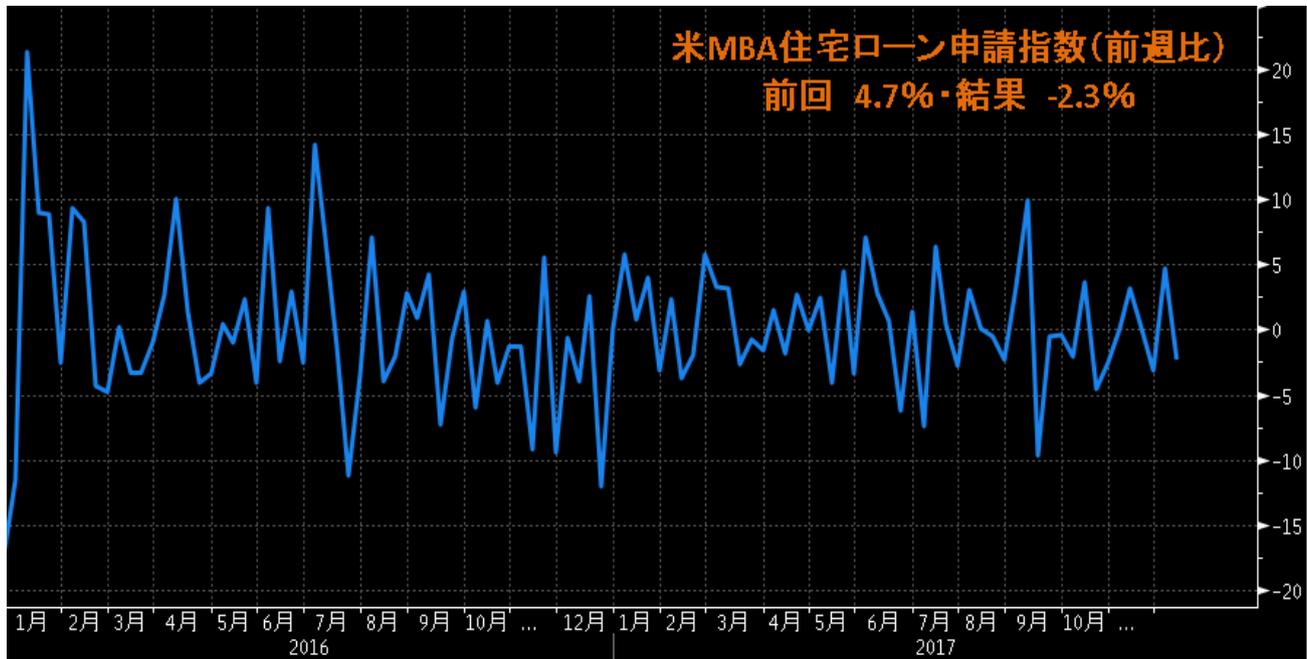
- ・ EU首脳会議
- ・ MPC (英中銀 金融政策委員会)
- ・ ECB理事会、ドラギECB総裁 定例会見

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -2.3% (前回 4.7%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	12/8	12/1	11/24	11/17	11/10	前年同期
申請指数	-2.3	4.7	-3.1	0.1	3.1	-1.4
購入	-1.1	2.4	1.8	5.3	0.4	6.9
借換え	-2.5	9.0	-7.7	-4.8	6.3	-10.0
固定金利	-2.2	5.2	-2.8	0.1	3.3	-1.1
変動金利	-3.9	-3.2	-6.9	1.4	0.1	-5.2

固定金利 30 年 . . . 4.20 . . . 4.19 . . . 4.20 . . . 4.20 . . . 4.18

固定金利 15 年 . . . 3.61 . . . 3.59 . . . 3.57 . . . 3.56 . . . 3.54

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11 月米消費者物価指数 (前月比) 0.4% (予想 0.4%・前回 0.1%)

11 月米消費者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.2%・前回 0.2%)

11 月米消費者物価指数 (前年比) 2.2% (予想 2.2%・前回 2.0%)

11 月米消費者物価指数[コア] 1.7% (予想 1.8%・前回 1.8%)



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《消費者物価指数》

	11月	10月	9月	8月	7月
全品目	0.4	0.1	0.5	0.4	0.1
除く食品・エネルギー	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
エネルギー	3.9	-1.0	6.1	2.8	-0.1
サービス	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2
食品・飲料	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2
居住費	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1
医療費	0.2	0.3	-0.1	0.1	0.4
娯楽費	0.0	-0.1	0.2	0.2	0.3

◀ 経済指標のポイント ▶

11 月米消費者物価指数は、前月比、前年比共に予想通りの結果となったが、変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は予想、前回値から共に低下となった。エネルギーは 3.9% (前回-1.0%)、輸送費は 1.9% (-0.5%)、教育・通信費は 0.3% (0.2%) と前回から伸び幅が上昇したが、サービスが 0.2% (前回 0.3%)、居住費が 0.2% (0.3%) と伸び幅が低下した。



出所：Net Dania

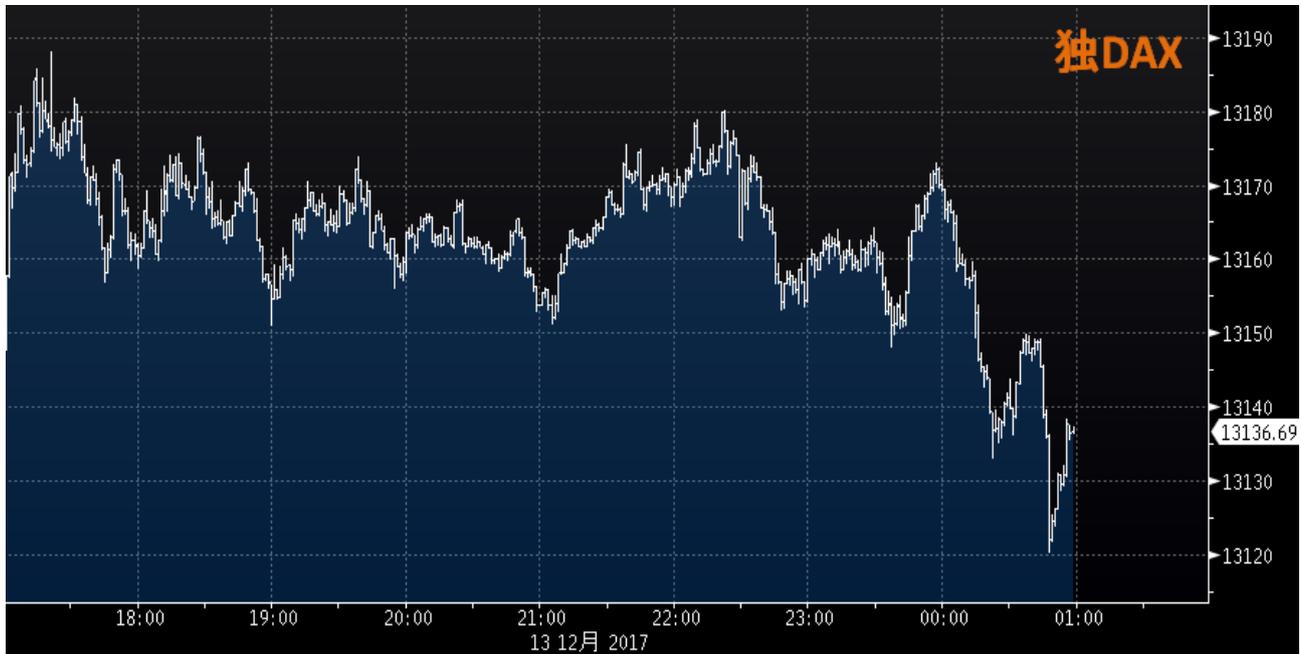
0 : 30

◀EIA 米在庫統計▶

原油在庫・・・512 万バレル減少
ガソリン在庫・・・566 万バレル増加
留出油在庫・・・137 万バレル減少
クッシングの原油在庫・・・332 万バレル減少

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、反落となった。英 FT100 は米 FOMC の結果公表を控えて様子見ムードが強く、買いが手控えられ小幅安となった。一方、独 DAX は、電力関連の株価が急落したことが影響した。

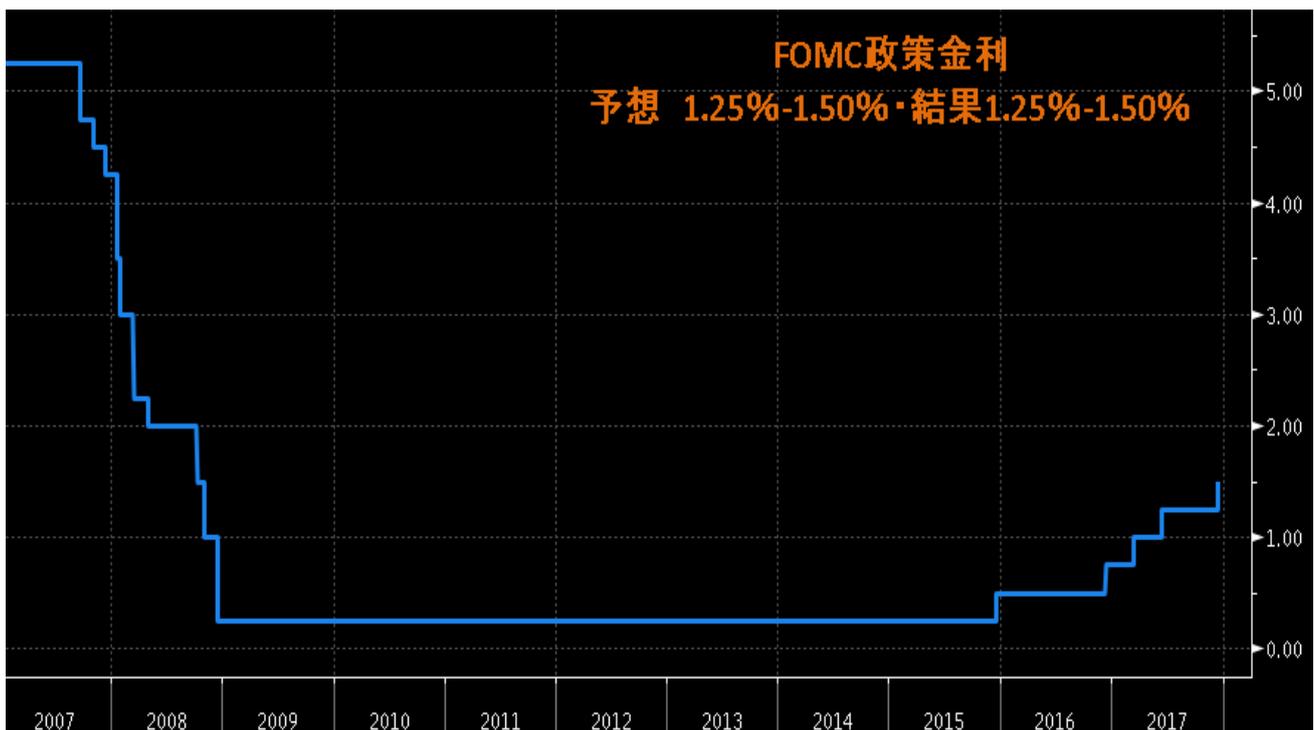


出所：Bloomberg

4 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

FOMC 政策金利 1.25%-1.50% (予想 1.25%-1.50%・前回 1.00%-1.25%)



4:00

FOMC 声明

- ・「FF 金利誘導目標を 1.25%–1.50%に引き上げ」
- ・「2018 年の経済成長加速へ、労働市場は依然力強い」
- ・「経済は緩やかな利上げを正当化すると引き続き予想」
- ・「エバンス、カシュカリ両氏が据え置き主張し利上げに反対」

FOMC 予測

- ・「2018 年の利上げは 3 回、19 年は 2 回」
- ・「2020 年末の FF 金利は 3.1% (9 月時点は 2.9%)」
- ・「2018 年成長率は 2.5% (前回は 2.1%)」
- ・「2018 年第 4 四半期の失業率は 3.9% (前回は 4.1%)」
- ・「2018 年–2020 年のインフレ見通しは前回から変わらず」
- ・「長期の GDP と失業率見通し、前回から変わらず」
- ・「長期 FF 金利は 2.8% (9 月時点から変わらず)」



4:35

◀ 要人発言 ▶

イエレン米 FRB 議長～定例会見

- ・「第 2・第 3 四半期の経済成長は堅調だった」
- ・「税制変更は今後数年経済を押し上げる公算大」
- ・「税制変更に伴うマクロ経済上の効果は不透明」
- ・「労働市場の状況が一定程度強まると予想」
- ・「労働市場の過熱を容認すれば急激な引き締め必要となるリスク高まる」
- ・「今年確認された予想外の軟調なインフレは概ね一時的とみられる」
- ・「税制変更は FRB の GDP 見通し上方修正を後押し」
- ・「経済見通し正当化すれば保有債の償還資金再投資を再開する用意」

◀ 要人発言 ▶

イエレン米 FRB 議長～定例会見

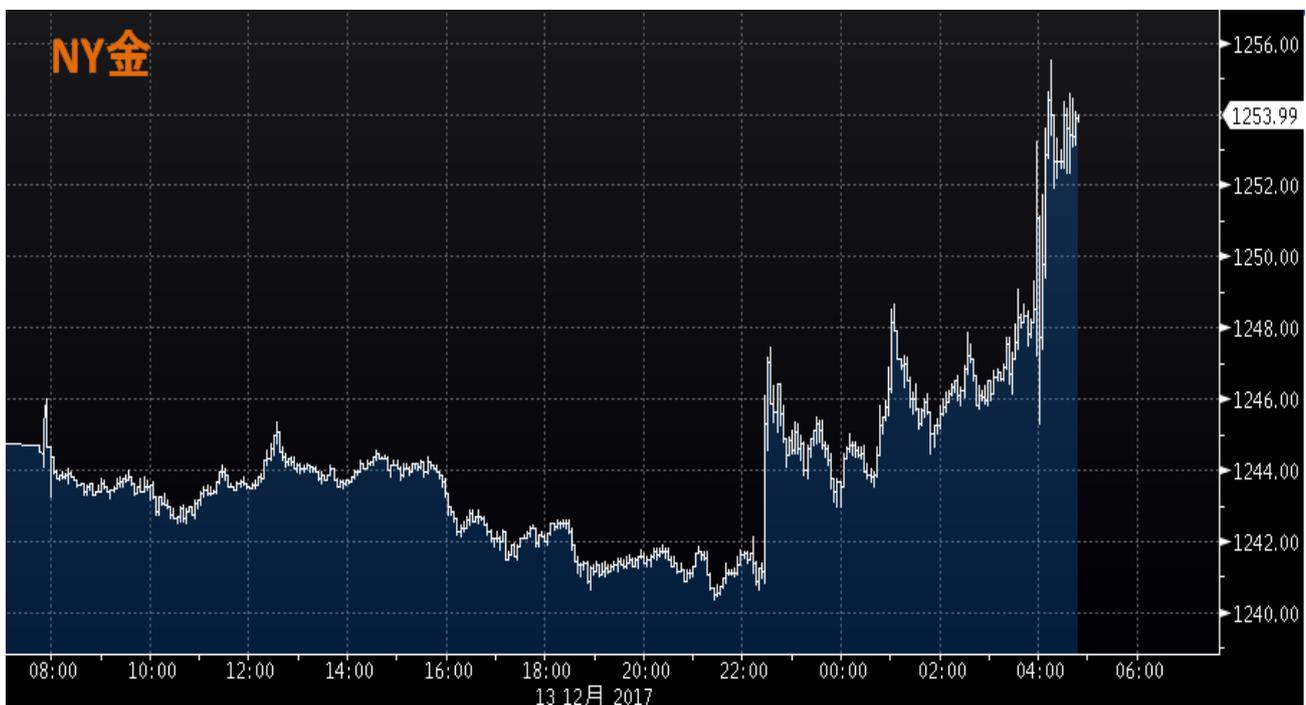
- ・「パウエル次期 FRB 議長への円滑な移行に尽力」
- ・「FRB は税制巡り討議、大半のメンバーは議会検討中の財政刺激策を見通しに織り込む」
- ・「生産性の伸びが低いことは気がかり」
- ・「米経済、完全雇用に近い状態にある」

- ・「ビットコインは極めて投機的な資産」
- ・「個人的には米国の債務状況を懸念している」
- ・「デジタル通貨と仮想通貨の違いを明確にしたい」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 6.90 ドル高の 1 オンス=1248.60 ドルで取引を終了した。

NY 金は、11 月の米消費者物価指数でコア指数が市場予想を下回ったことから、ドルが主要通貨に対して下落し、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。FOMC の結果発表を受けてドルが一段安となり、時間外取引で金の買いが加速した。

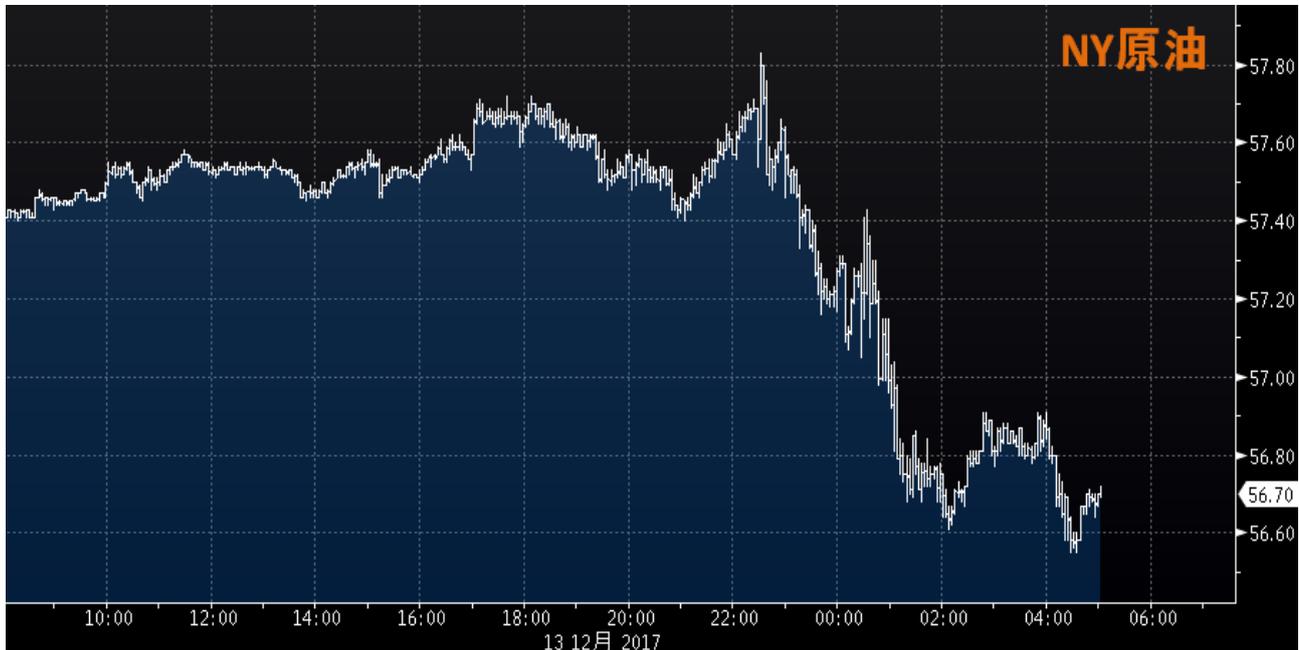


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.54 ドル安の 1 バレル=56.60 ドルで取引を終了した。

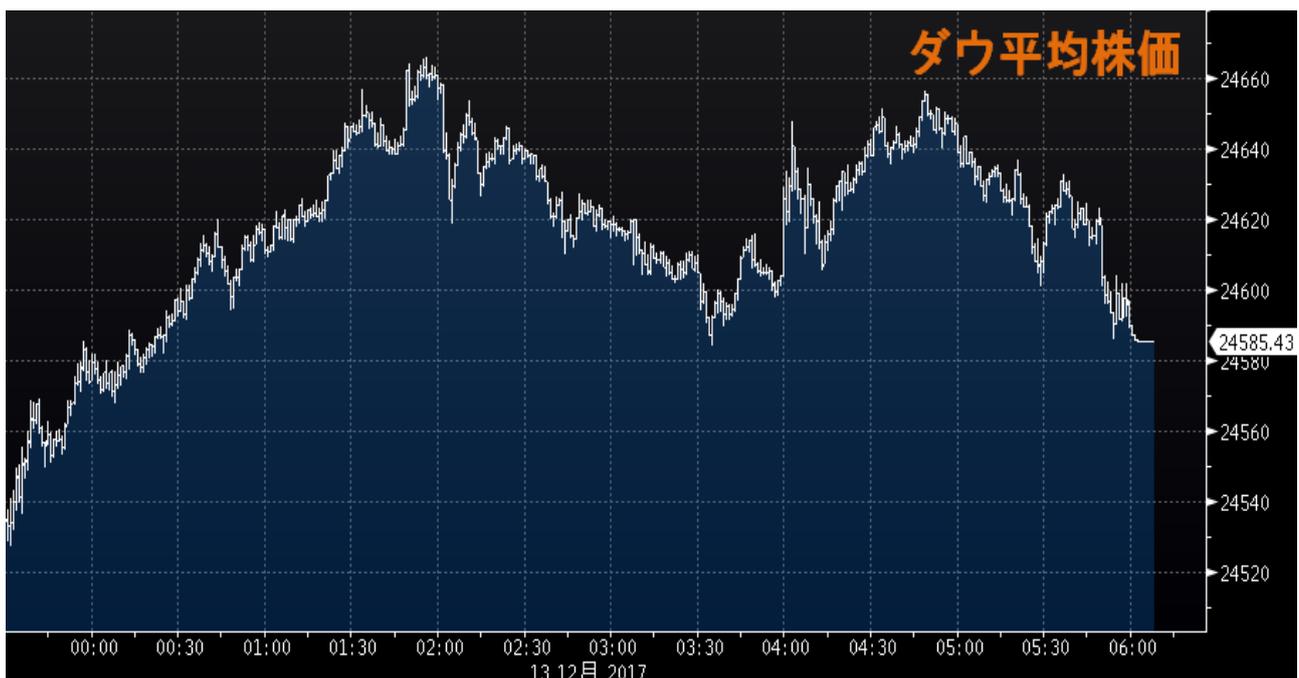
NY 原油は、米石油統計で、ガソリン在庫が市場の予想以上に増えたほか、原油の生産量が増加したことも材料視され、需給の緩みに対する懸念から売りが優勢となった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

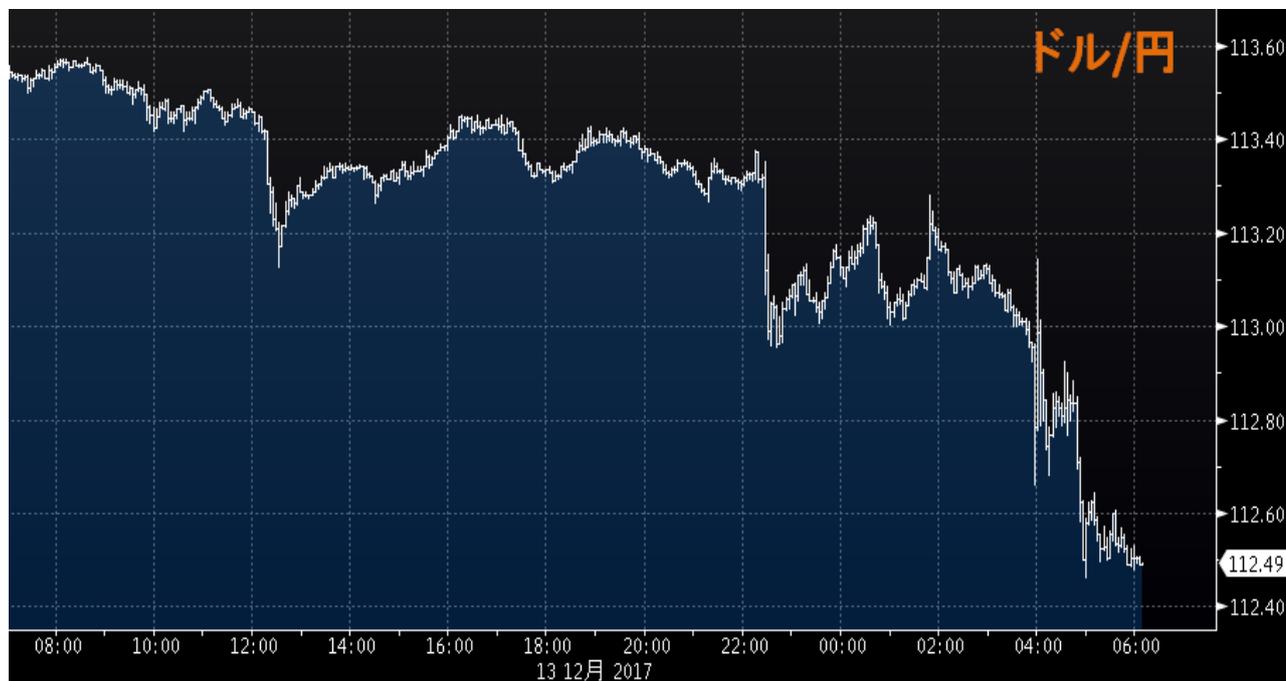
米株式市場は、米税制改革実現への期待感などを背景に主要株価は序盤から堅調な動きとなった。また、FOMC で利上げが決定されたものの、予想通りであり反応は限定的となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 166 ドル高まで上昇し、取引時間中の過去最高値を更新したが、その後はやや上値の重い動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が一部で冴えない結果となったことを受けて、ドルは軟調な動きとなった。ただ、FOMCで利上げが決定されたものの、インフレに懸念が残ったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。